

光が丘四季の香小学校研究だよりNo.3



平成26年7月14日(月)

光が丘四季の香小学校

校長 富澤 素子

校内研究推進部

家

初夏の候、いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力・ご支援いただきありがとうございます。

さて、今年3回目の研究授業が6月10日(火)にあり、3年3組の子供たちが大活躍しました。学習内容は「こん虫をそだてよう」(指導者:中島 忍教諭)です。子供たちは、虫を観察したり飼育したりする活動のなかで、様々な気付きや疑問を抱きます。それらを、担任の中島教諭が引き出し、子供たちの「問題」としてまとめる授業をしました。授業、協議会の様子をご紹介します。講師は、元玉川大学教育センター教授、畑中喜秋先生でした。

この授業で、児童に身に付けさせたい学習内容(この授業のねらい)

- ・虫を観察して気付いたことをもとに、不思議に思ったことや調べたいことを見つける。

虫についてふしぎに思ったことや調べたいことを見つけよう。

導入では、観察を通して気付いたことを、実物投影機を使って、全体に発表します。

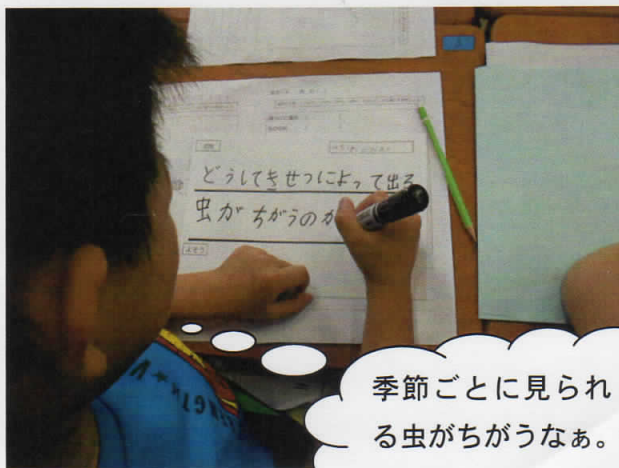
みんなもそうだった?ダンゴムシやクモの足の本数とはちがうね。



足が6本ありました。

自分で学びタイム

次に、虫について疑問に思ったことやもっと調べたいことを短冊に書き込みます。この段階では、友達と話し合いはしません。書く活動を通して、自分の考えをはっきりさせます。



季節ごとに見られる虫がちがうなあ。